



なかじろう物語

まちのアイドル？ なかじろう誕生の話

皆さんは『なかじろう』をご存知ですか？
なかじろうは、子どもたちに実験の楽しさを伝える美旗地域のアイドルです！

コロナ禍の影響で様々なイベントがストップした時、地縁法人美旗まちづくり協議会の児童育成部が考案したのが、美旗小学校と美旗市民センターをオンラインで繋いだクイズ大会。その際、「子どもたちに笑ってもらいたい」と考え出されたのが、『なかじろう』です。

なかじろうは理科や実験が大好きで、その楽しさを伝えたいと子どもたちにも実験を体験してもらっています。今まで使った実験道具は全てなかじろうの手作り。イベント終了後も皆に使ってもらいたいと、美旗市民センターのロビーに置いているのだそう。今ではなかじろうに憧れる『なかじろうキッズ』もいるとか！

「美旗大好き！子ども大好き！実験大好き！」な、なかじろう。遊びも仕事もボランティアも全力で楽しむのがモットー！なかじろうをきっかけに、まちづくりに興味を持ってくれたら嬉しいです。



市民 PR チームが Instagram で綴ったなばりの魅力をご紹介します！

投稿を再編集して掲載！フォローしてね ▶



おでかけしませんか？



池に咲き誇る睡蓮の花や飛来する野鳥たち。住民手作りの看板も目を引く

住宅地のオアシス 桔梗の森公園



「桔梗の森公園」の愛称で親しまれる桔梗が丘 10 号公園。住宅に囲まれながらも、自然の魅力に触れられる公園です。



四季折々の自然を楽しませてくれる園路。池のほとりの東屋で一服できる

実は桔梗の森公園は甲子園球場の約 1.5 倍の広さがあるんです。この大きな公園を綺麗に保つのはなかなか大変なので、地域のボランティアの人と一緒にグリーン活動を実施。そのおかげで誰もが安心して過ごせる公園になっています。

池の周りは遊歩道が整備されているので、どなたでも気軽に散策しに来てくださいね。

私たちの愛する公園へ
いらっしやい！



上田 博 さん 福森 譲 さん
(桔梗が丘自治連合協議会)

じもと再発見 なばりじまん

「長時間、家を空けられない」「車に乗らないので図書館には行きづらい」という皆さん、近所をまわる便利な図書館、やまなみ号をぜひご利用ください。

「この地域はミステリー系の本を借りる人が多いからたくさん積んでおこう」「子どもたちにはこの絵本がいいかな」と、足を運ぶ利用者に合わせて、積載する本を選びます。「フランス料理の本」「〇〇という作家の本」など、事前に図書館に連絡いただければ、希望に沿った本を選んで持つてくることもできるんです。

あなたの好みに小回り対応 移動図書館「やまなみ号」

皆さん、「やまなみ号」をご存知ですか？

昭和47年から走り続けている「移動図書館」で、市民センターや、住宅地の一角、小学校、保育所など市内36カ所を巡回し、約3000冊の本や紙芝居を地域に届けます。



やまなみ号
巡回場所



市立図書館すなお 63 - 3260

図書館では こんなイベントも！

■ 春の図書館まつり

日程 5月3日(土)
内容 青空フェス(リサイクル本の配布会)13:00～、おはなし大会 14:00～
◎スーパーボールすくいも開催します。参加無料、申込不要

■ 大人が楽しむ絵本の時間

日時 5月10日(土) 10:30～11:30
場所 図書館 2階視聴覚室
参加費 1,000円(資料代)
◎定員 15人(高校生以上)
申込フォームから申込



ニーズに応えながら、昨年度は4万冊以上を貸出し

さまざまなイベントや展示などで図書館を盛り上げていますが、なかなか来られない人にもサービスを利用してもらいたいですよね。

「ステーションをもっと便利な場所に」という声に応え、今年4月からは変更した地域も。「停車時間を延ばして」と要望をもらうこともあります。できるだけ多くのステーションをまわりたいと考えています。利用していただく皆さんのニーズに応えながら、これからも、より親しまれるやまなみ号にしていきたいです。



文化振興担当監
山口 浩司

語る
ひと



#名張感動

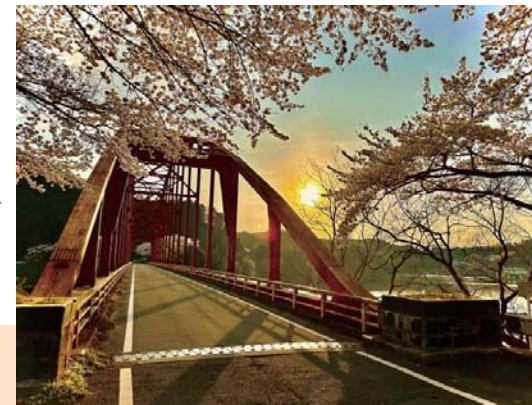
このまちは感動に満ちている

夕暮れと弁天橋と桜

@kitamori_shashinkan



#名張感動キャンペーン
2024 春編 入賞作品



満開の桜を撮ろうと市内をぐるりと回った投稿者さん。青蓮寺湖は何度も訪れたんだそう。

同じ場所でも、時間帯で変わる景色を見つけると、なんだかうれしい気持ちに。

Instagram で見つけた「#名張感動」をご紹介します